

(資料)



令和 6 年度 京都市伝統産業活性化推進審議会

産業観光局クリエイティブ産業振興室

本日の内容

1 計画及び審議会について

2 計画の進捗について

3 具体的な取組について

4 今後に向けて

1 計画及び審議会について

1 計画及び審議会について

京都市伝統産業活性化推進条例（平成17年度施行）

○ 目的

この条例は、伝統産業の活性化の推進に関し、その基本理念を定め、並びに本市及び事業者の責務並びに市民の役割を明らかにするとともに、伝統産業の活性化の推進に関する施策の基本となる事項を定めることにより、伝統産業の活性化を総合的かつ計画的に推進することを目的とする。



京都市、事業者、市民がそれぞれに伝統産業の活性化に努める。

○ 4つの基本理念

①

経済状況や
生活様式の
変化に常に
対応し、市場を
開拓する

②

基盤の強化、
円滑な流通の
促進、技術の
継承と革新

③

優れた価値を
広く世界に伝え、
伝統産業の
魅力を増進する

④

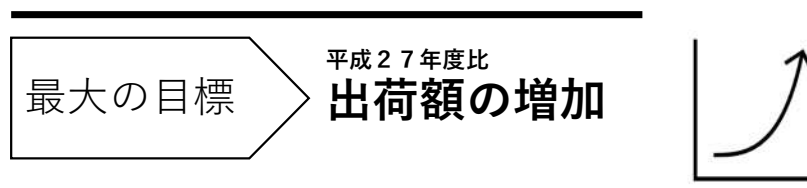
日本独自の
伝統文化の継承
と文化の創造

1 計画及び審議会について

第3期京都市伝統産業活性化推進計画・審議会

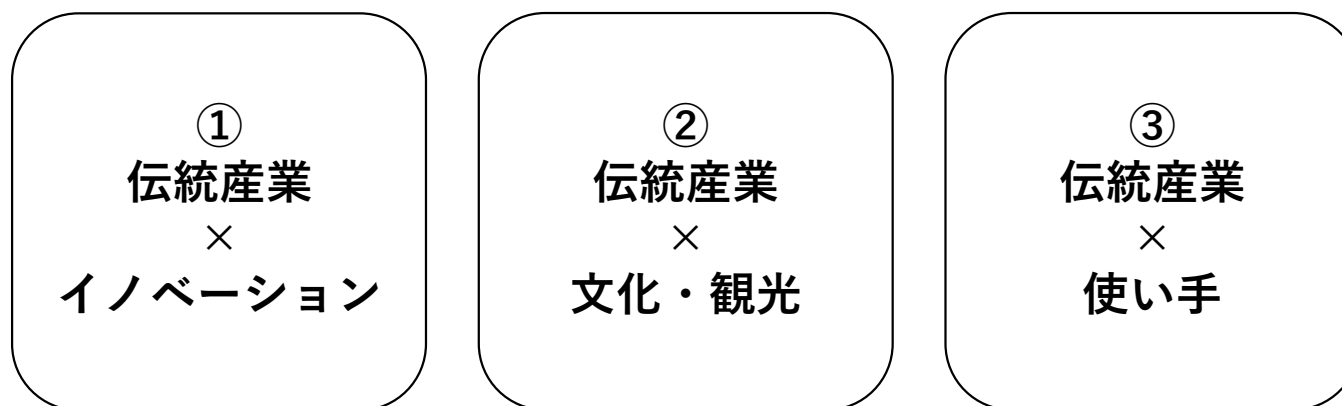
【第3期京都市伝統産業活性化推進計画】

- 計画期間
平成29年度～令和8年度の10年間の計画期間



令和4年度の審議会で御意見
いただいた「指標」の在り方
については継続課題

- 3つの視点



【京都市伝統産業活性化推進審議会】

- 伝統産業の活性化の推進に関する事項について、調査・審議し、意見を述べる。

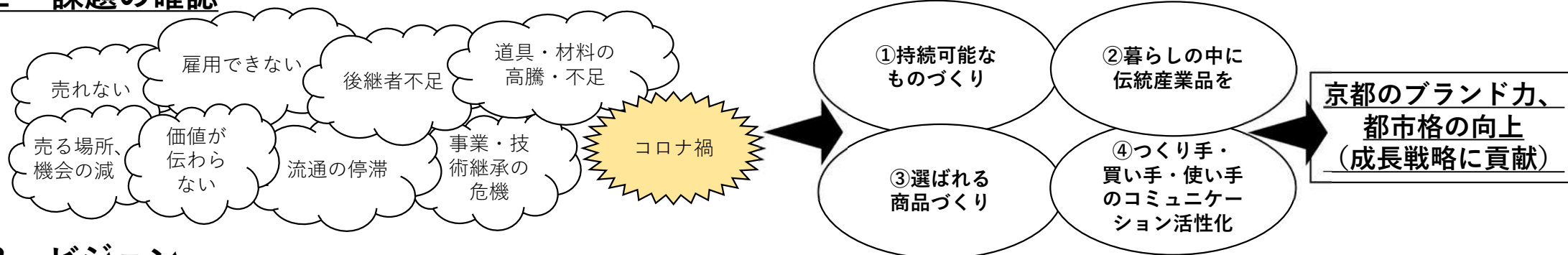
1 計画及び審議会について

第3期京都市伝統産業活性化推進計画後半期5年に向けて

1 京都の伝統産業振興に向けた今後の取組について

世界に誇る京都の伝統産業を活性化することにより、文化と産業・経済の好循環を構築し、都市の成長戦略の推進につなげるとともに、SDGsの達成に貢献

2 課題の確認



3 ビジョン

★商品開発

マーケティングによりニーズをとらえ、新たな顧客獲得につながる商品を開発できている。

★魅力発信・市場の拡大

つくり手・買い手・使い手のコミュニケーションが活性化している。

★販路拡大

EC、バーチャル、海外展開などあらゆる手法で販路拡大が進んでいる。

★流通

卸・問屋によるコンサルティングやECによる直販など多様な選択肢があり円滑に機能している。

★社会課題解決に貢献

社会課題解決につながるものづくりが進んでいる。

★後継者育成

働きたい若者と担い手を必要とする事業者がマッチングできている。

★事業承継・技術承継

事業者同士がM&A等によりマッチングできている。

★観光

宿泊施設等と伝統産業がマッチングし、活用されている。工房訪問、体験が充実。購入できる場所も充実。

★文化

文化事業との連携・融合が一層進んでいる。暮らしの中に取り入れられ文化度の高い生活が定着している。

★好事例・ベストプラクティスの共有

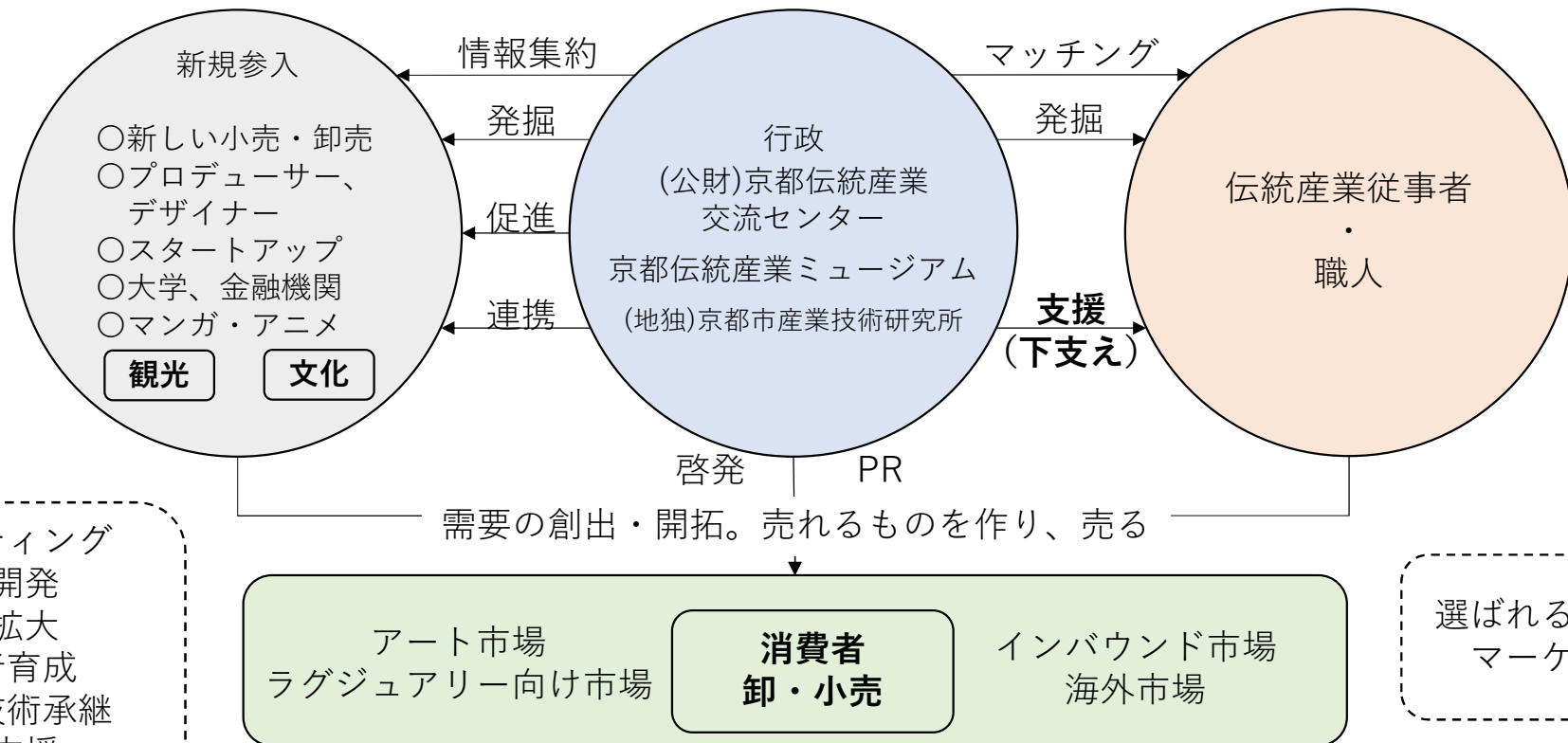
好調な事例が業界全体に共有されており、底上げにつながっている。

1 計画及び審議会について

行政などの今後の役割（マッチング）

○これまでのような支援に加えて、伝統産業事業者「以外」と伝統産業事業者とのマッチングなども積極的に進める

- 伝統産業分野に関心のある民間事業者、金融機関、大学、プロデューサーと、意欲的な伝統産業事業者の情報を収集し、ビジネスマッチングの拠点に。

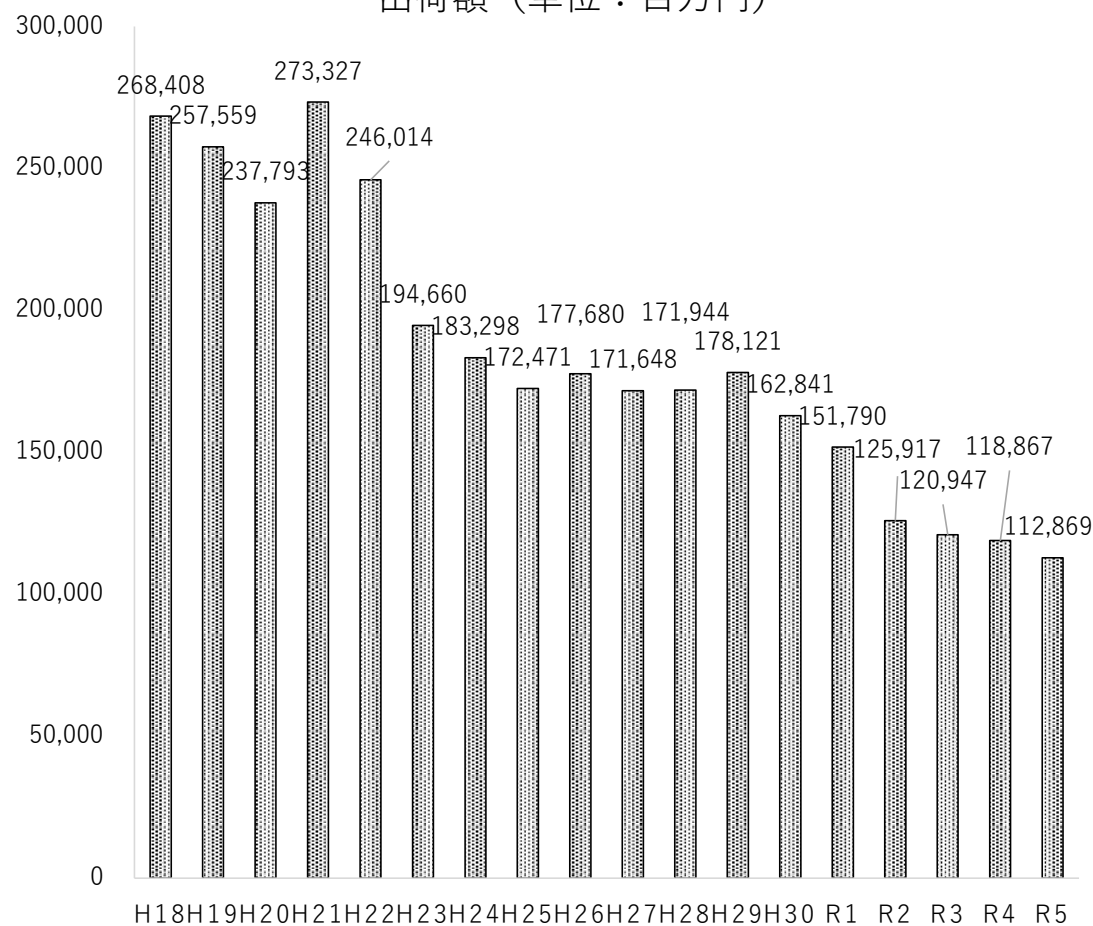


2 計画の進捗について

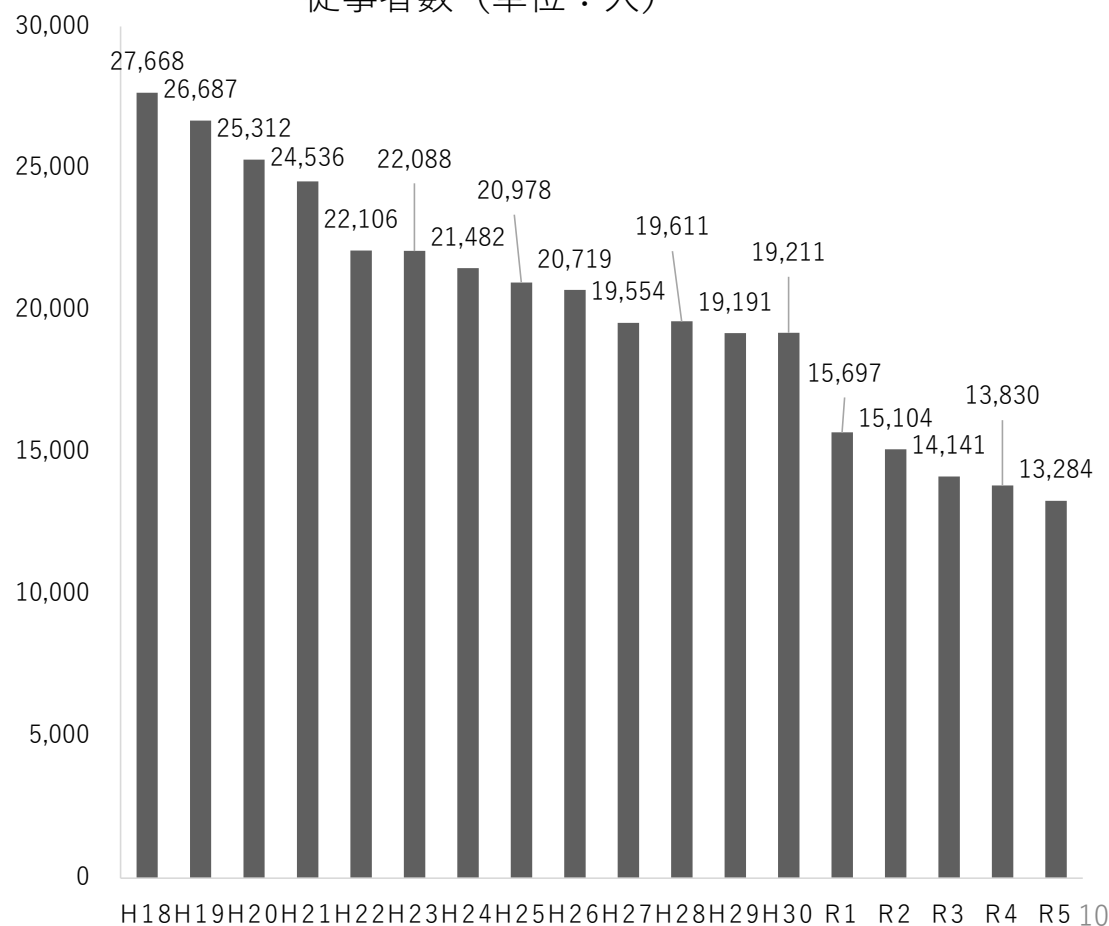
2 計画の進捗について

現状（74品目業界アンケート調査）

出荷額（単位：百万円）



従事者数（単位：人）



2 計画の進捗について

計画の進捗について（6つの基本的施策）

基本的施策1 伝統産業に関する創造的活動に対する支援

- 他分野と連携したものづくりや販路拡大など先進的な取組を支援する「**未来構築事業**」の実施（R5「**海外展開枠**」を新設）（R4：14件、R5：16件、R6：18件採択）
- 若手職人がインターンシップを受け入れ、コーディネーターと共に広報や営業、雇用に係る経営能力の向上に取り組む「**京もの担い手育成事業**」の実施（通算16事業者）
- 首都圏PR（**京都館PJ**（動画配信、体験事業）、工芸品展示、大正大学との連携）
- マンガ・アニメ、ファッションブランド・雑誌との**コラボ事業**の実施
- **ふるさと納税返礼品**としての出品・商品開発

基本的施策2 伝統産業に関する教育や学習の場における取組

- 職人とともに制作体験を行う「**京の匠ふれあい事業**」の実施（R5:延雇用数816人）
- 小学4年生用副読本「**わたしたちの伝統産業**」の発行（R6:全165校）
- 大学・学校等での講義・授業（R5:実績5回）

基本的施策3 伝統産業に関する関心と理解を深める取組

- 「**伝統産業の日（春分の日）**」を中心に、年間通じて業界団体や民間事業者とともに普及啓発を実施
- 「**日本酒乾杯条例**」の全国に先駆けた制定
- 「**和のしつらえ**」、「**京都和活**」の提唱・提案・普及促進
- 隼より始めるプロジェクト（京ものの販売会の開催、和装勤務等）
- 地下鉄烏丸線新車両「**おもいやりエリア**」への伝統産業品展示（9編成×2業種）



計画の進捗について（6つの基本的施策）

基本的施策4 技術の継承や後継者の育成

- 若手職人への**育成資金**の支給（通算1,350人）及び「**京の伝統産業わかば会**」での活動
- 伝統産業の後継者確保と障害のある方の就労機会創出を両立する「**伝福連携事業**」の実施（R6：4業種を採択。通算8業種）
- 技術継承に向け老朽化した設備の改修を支援する「**設備改修等事業補助制度**」の実施（R6：新規雇用や新商品開発等につながる新設は補助率アップ）（R6：申請件数82件）

基本的施策5 活性化拠点施設等の機能の充実

- **伝統産業ミュージアム**の機能強化（観覧料を設定→展示内容の充実、体験ブースの設置、解説案内機能の充実など）
- （独法）**京都市産業技術研究所**の機能強化・連携強化

基本的施策6 表彰や奨励

- 職人の長年の功績を称える「**伝統産業技術功労者表彰顕彰**」（延べ1,211名）
- 伝統産業の中核を担う中堅職人を認定する「**未来の名匠**」認定事業（延べ146名）

計画に定める 6 つの基本的施策の取組事例
5 1 全てに着手！



3 具体的な取組

3 具体的な取組

京都市伝統産業未来構築事業

- 伝統産業の未来への継承に向け、幅広い分野・業種とのコラボレーションを通じ、「現代のライフスタイルに合わせたものづくり」「マーケット開拓・拡大」「担い手育成」等に先進的に取り組むグループ等を伴走支援
- 令和5年度からは、新たに「海外展開枠」を追加（R6採択件数採択件数：18件、うち4件が海外展開枠）
- 事業経費の一部を補助するとともに、コーディネーター（京都伝統産業ミュージアム）による進捗管理、セミナー・相談会・交流会の開催等により、事業効果の最大化、業界全体への波及につなげる。



京都の伝統技術×加工レザー

京都の職人と姫路のタンナーがタッグを組み、世界で通用するサスティナブルなレザーを制作。



漆×海外プロモーション（海外展開枠）

漆への世界的認知が広がりつつある今、海外において漆の本質を伝え、認知向上と需要喚起を図る。



伝統工芸×コーヒーツール

伝統工芸を世界中で親しまれるコーヒー文化に融合させることで新たな価値を創造し、海外市場での展開を図る。



京鹿の子絞×海外展示会（海外展開枠）

新たな制作体験メニューとアートパネルなどの新商品を開発し、国内外の展示会などに出展し、その魅力を訴求。



多品目の伝統工芸×海外販路（海外展開枠）京たたみ×海外マーケティング

職人の海外展開を自由にするを目的に、現代のライフスタイルに合わせた厚畳を開発。海外での展示会を通じて、海外ネットワークし、海外販売を視野に海外市場の開拓と、新たな畳の可能性の拡大を目指す。



京表具×インテリア（海外展開枠）

京表具の伝統技術を使って、現代のライフスタイルに合うインテリア商材を開発し、国内外の展示会に出展。



漆×再生紙

再生紙に漆を塗布し、洗って何度でも使える新しい紙製京漆器の開発・販売に挑戦。

3 具体的な取組

京都伝統産業ミュージアムの取組

- 令和5年9月、新たに観覧料を設定。
- 観覧料収入については、令和6年度も引き続き、職人実演の日当や展示品の充実などの業界支援、ミュージアム・コンシェルジュ（解説・案内員）や音声ガイドといった案内機能の充実、「Tradition Meets Today」のコーナーにおける業界とともに企画・制作した展示品の入替えを行った。

【来館者数】

令和5年9月～令和6年8月の1年間で、約40,700人の来館者にお越しいただいた。参考値ではあるが、令和6年度の来館者数目標40,000人を達成！

【観覧料収入】

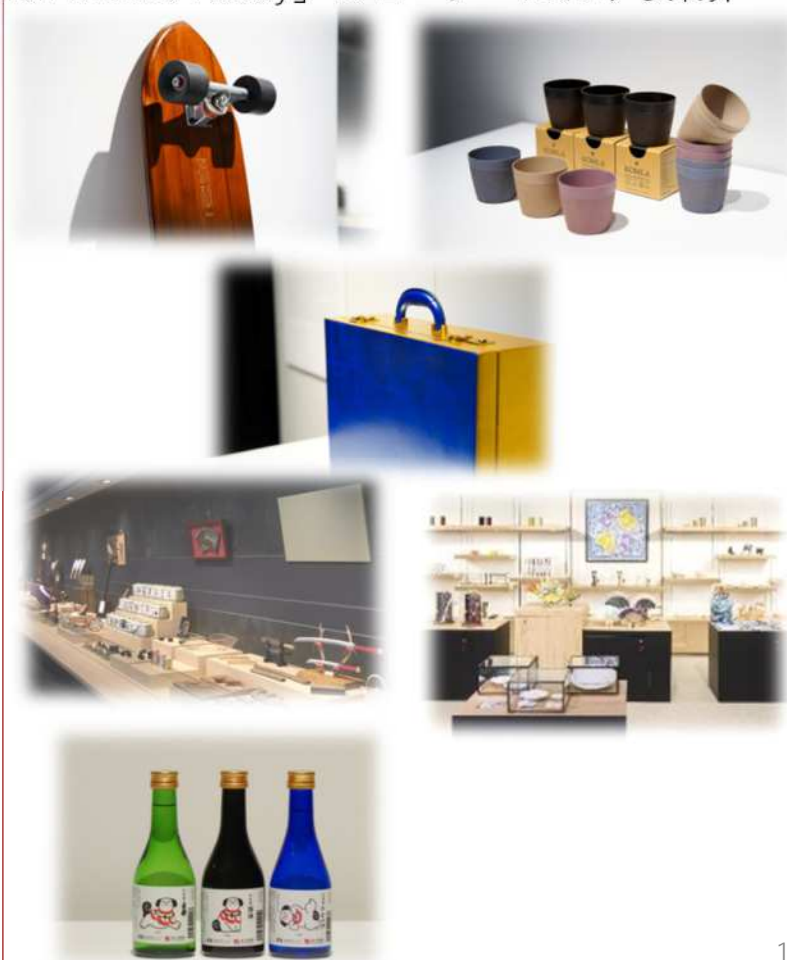
令和5年9月～令和6年8月の1年間で、約13,910千円の観覧料収入があった。参考値ではあるが、令和6年度の観覧料収入目標13,500千円を達成！

【ミュージアムショップ】

商品展開の充実や定期的な商品の入替え、有料観覧者への200円クーポン券の配布などにより、観覧料設定以降（R5.9～R6.3）の売上げは前年同期比で約1.7倍に！

ミュージアムショップの売上額は、令和5年度は、令和4年度と比較して約1.8倍となっており、また、売上のうち、外国人で5,000円以上購入された方の売上額は、令和5年度は令和4年度の5倍となっており、インバウンドからの伝統産業品の需要は明らかに高くなっている。

令和6年9月からは、ミュージアム公式キャラクター「ことまる」をデザインしたオリジナルラベルの日本酒やオリジナルメモ帳の販売を開始。



3 具体的な取組

「伝統産業の日」事業の充実

1 作品の世界観を表すワークショップ（伝統工芸の制作体験等）の開発

題材となる「絵本」の世界観を表現した作品の完成を目指すワークショップを開発。

2 作品とコラボした商品の開発・販売

1のワークショップの開発・実施に当たって制作する見本（完成品）を(株)福音館書店と連携して商品開発し、販売。

3 「絵本&クラフトフェスタ」の開催

1のワークショップ及び昨年度までに開発したワークショップが体験できるイベントを開催。

日時：令和7年2月2日（土）午前10時～午後5時

場所：イオンモールKYOTO

4 匠エキスポ

大阪・関西万博のコンセプトを意識した作品や、万博カラーの赤や青を使用した作品を展示。

日時：令和7年3月15日（土）～16日（日）午前10時～午後5時

場所：京都市勧業館みやこめッセ



3 具体的な取組

「伝統産業の日」事業の充実

- 京都ならではの「**京都和活**」を提唱し、京都の伝統産業や伝統文化にとって欠かせない「**和のしつらえ**」の魅力をより深く知る機会を創出するとともに、日常生活に和のしつらえを取り入れたいと感じる方を増やす。

1 住宅メーカーと連携した京都和活の展示・体験

株式会社デザオ建設と連携し、モデルハウスにおいて、現代の生活にマッチした伝統産業品を展示。住宅購入を考える方へ和のしつらえを提案。

日時：令和6年11月16日（土）～17日（日）

場所：デザオ建設北野展示場



2 ふしぎ京都伝統産業ミュージアムの謎

匠エキスポ内の展示や会場内に設置された和の空間を舞台に、京都の伝統産業をテーマにした謎を解き、ゲームクリアを目指す「体験型謎解きエンターテインメント」を実施。

「和の空間」や和の空間を支える伝統産業の魅力を、子どもから大人まで幅広く知ってもらう機会とする。

日時：令和7年2月22日（土）～3月31日（月）

場所：京都伝統産業ミュージアム



3 市民を招いた「御池茶会」での取組

文化庁京都移転を機に「生活文化」の魅力を身近に体験できる機会として、市民茶会を開催。参加者への着付け、地下通路への伝統産業品展示を実施。

日時：令和7年3月15日（土）～16日（日）

場所：京都市役所本庁舎（和室・正庁の間など）



3 具体的な取組

伝統産業 × デジタル

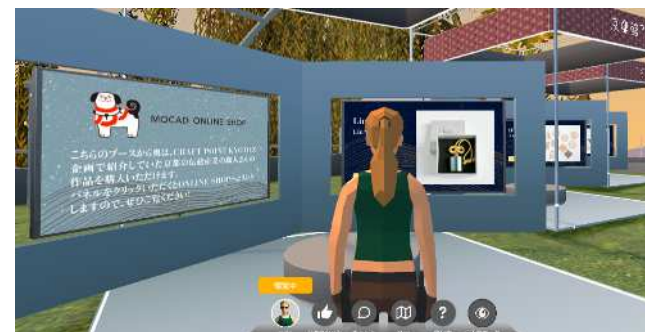
- ・ 動画配信、メタバースなど様々な媒体を活用して伝統産業の魅力発信、売上向上につなげる。

○ YouTubeチャンネル「京都館会議」

- ・ 京都館館長の小山薫堂氏が、多様な切り口で京都の魅力を発信するYouTubeチャンネルにおいて、伝統産業品をはじめとする京都市のふるさと納税返礼品を紹介

○ メタバース（京都館PLUS X）

- ・ バーチャル空間内で京都の魅力を発信する京都館PLUSXにおいて、伝統産業の工房や伝統産業に関するイベントなどの情報を発信
- ・ 伝統産業ミュージアムMOCAD ONLINE SHOPへの誘導
- ・ 伝統産業ミュージアムMOCAD ONLINE SHOPの協力のもと、京都館PLUS Xから入場できる伝統産業品のポップアップストアを期間限定で設置
期間：令和6年3月5日（火）～3月26日（火）
- ・ 伝統産業品の展示販売会「匠エキスポ」において、上記ポップストアでショッピング体験ができるブースを設置
日時：令和6年3月9日（土）、10日（日）
場所：京都市勧業館みやこめっせ



3 具体的な取組

伝統産業 × 宿泊事業者（コトノムスビ・プロジェクト）

- 令和4年度から実施。京都の工芸品・食材・体験などと京都の宿泊施設の縁をむすぶビジネスマッチングプロジェクト。

ビジネスマッチング商談会の開催

9月24日・25日の2日間、京都伝統産業ミュージアムにて



出展者 市内の伝統産業品や農林業・食品等の32の事業者

伝統産業分野 ▶ 西陣織、京鹿の子絞、京友禅、京焼・清水焼、
19事業者 ▶ 京扇子、京都の金属工芸品、唐紙、京菓子など

来場者 市内の宿泊事業者をはじめ、旅行会社、飲食店、
観光関連施設、金融機関など、計118名

体験アクティビティモニターツアーの実施

市内の宿泊施設のコンシェルジュや旅行会社の担当者等を招き、
伝統産業の製作体験ワークショップ・工房見学ツアーを実施。



Aコース
10月15日 中源（北山丸太）での枝打ち作業の現場見学や
醍醐窯（京焼・清水焼）での絵付け体験見学など

Bコース
10月23日 京からかみ丸二（唐紙）での唐紙摺り体験や
アンドウ（京鹿の子絞）での絞り染め体験見学など

（参考）令和5年度事業での成約事例（一例）

サンメンバーズ京都嵯峨 × 佐々木酒造（清酒） ▶ 利き酒体験つき酒蔵見学ツアーを組み込んだ宿泊プランの販売
都和旅館 × 芸艸堂（京版画） ▶ 館内での和雑貨の販売、客室内装飾への活用

3 具体的な取組

外部資金の獲得

- 京都のため、伝統産業のため、御協力いただける企業・団体からのお申し出

【寄付事例】

○ 一般社団法人 三洋化成社会貢献財団

(株)三洋化成工業と本市及び京都市産業技術研究所において、伝統産業の技術的課題（西陣織の難燃処理や金銀糸の変色等）の解決に向け取り組んでいたところ、更なる本市の伝統産業への支援として、今後の業界を牽引する担い手育成のためとして、「未来の名匠認定制度」に対し御寄付をお申出いただき、本年度も50万円の御寄付をいただいた。

○ 公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金

文化財保護等への支援を行っていた同基金において、支援の対象を文化財の保存修復等を担う伝統産業にも広げていただくこととなり、子どもを対象とした伝統産業の実演・解説及び制作体験事業等を実施している(公財)京都伝統産業交流センターに、毎年50万円の御寄付をいただいている。



3 具体的な取組

様々なマッチング

- ・ 伝統産業の振興につながる事業を実施したい民間企業から京都市への相談
- ・ 金銭等の直接支援だけでなく、展示、販売会場の提供や好条件での販売契約など間接的な支援も増加
- ・ 事業の趣旨を確認し、伝統産業ミュージアムとも連携して対応可能な職人・事業者を紹介、後援、広報協力

(事例)

○ 体験事業・販売企画への職人等の紹介

- ・ 清水焼の郷まつりにおける実演販売及びワークショップ（わかば会7名が参加）
- ・ ホテルグランヴィア京都：「まなぶんか（体験事業）」年数回。約20の事業者出展
- ・ 京都ポルタ：「京まちなか市（販売・体験）」月1回開催。「わかば会」、「京もの担い手プラットフォーム」から若手職人が出展
- ・ プリンスホテル（高輪エリア）：体験事業を年2回実施。これまで35事業者が参画

○ コラボ事業への事業者の紹介

- ・ マンガ、アニメ、ゲームなどを扱う企業への伝統産業事業者の紹介

○ その他

- ・ 地下鉄烏丸線「おもいやりエリア」への伝統産業品の展示（9編成×各2業種）
- ・ 「目」の問題から作業継続が困難になることを防ぐためのオートフォーカスアイウェア事業者と職人のマッチング
- ・ ラジオ局αステーションの番組「ONLYLOVERADIO（オンリーラブレディオ）」に未来の名匠を紹介し、月1回程度の番組出演
- ・ 海外ビジネスマッチングサイト「J-GoodTech（ジェグテック）」内の京都市特設ページに掲載する伝統産業事業者を紹介（R6.10時点で24社）
- ・ 京都芸術デザイン専門学校に伝統産業事業者を紹介し、学生と事業者が新商品アイデアとパッケージデザインを検討



京都を、深く楽しく
まなぶんか in 京都駅ビル



3 具体的な取組

京都市産業技術研究所との連携



- 伝統産業から先進産業まで、地域の産業を技術面から支援する機関。研究開発はもとより、他分野との融合、マッチングから新商品開発、市場開拓につなげ、伝統産業の活性化につなげる。

○ 伝統産業技術後継者育成研修

- ・ 陶磁器コース、漆工コース、京友禅（手描）コース、西陣織コース、染色基礎コースを実施

○ 京もの担い手プラットフォーム

- ・ 若手担い手をメンバーとし、ポータルサイトを開設
- ・ 展示会や販売機会の創出、セミナー、交流会の開催
- ・ 修了生のサポート（製品開発、販路開拓、プロモーション）

○ 研究開発・マッチング

- ・ 伝統技術×先進技術・他分野（漆のタンブラーなど）
- ・ 京都酵母（ビール製造への展開、京都市交響楽団とのコラボ）
- ・ 文化財修復

○ 技術相談

- ・ 各分野の研究員など専門家による相談対応
- ・ 京都市事業における専門分野のサポート（現地調査同行など）

○ その他

- ・ 京都工芸研究会→こうげい組体操（コラボ商品、見本市出展）
- ・ 京都伝統産業ミュージアムとの連携協定の締結（染-Next Chapter-等の展示会、オンラインショップ販売、京乃TANAサテライトギャラリー展示）
→産技研技術の見える化と修了生の技術紹介）



3 具体的な取組

公益財団法人 京都伝統産業交流センターとの連携

- 京都の伝統産業の活性化に向け、未来の担い手・使い手の育成、伝統産業品の生活回帰・定着の促進、作り手が行う伝統産業活性化の取組支援など、様々な普及、啓発活動を実施

○ 未来の担い手・使い手の育成

- 子どものための伝統産業・伝統工芸体験事業（R6：約2,800人が参加予定）
→和の文化・和のしつらえの施設（東福寺、聖護院門跡、大覚寺）のほか、
児童館・児童養護施設などでも実施
- 学校における伝統産業授業の活性化支援（R6：講師派遣4件、工房訪問10件等支援）

○ 伝統産業品の生活回帰、定着の促進

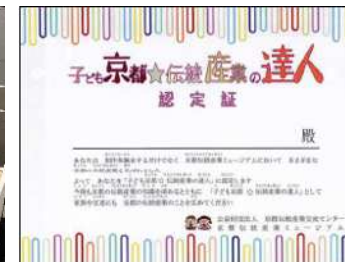
- 「匠」ふれあい事業（国際会議、首都圏ホテル、その他集客イベント等）
- 他ジャンル、時事問題とコラボした事業（SDG s、環境、科学等）

○ 外部資金の獲得

- 文化庁「伝統文化親子教室事業」委託金の獲得
- 独立行政法人、一般財団法人の助成金の獲得
- 民間企業からの寄付金の獲得

○ その他

- 作り手等が行う伝統産業活性化の取組支援（生産組合等の展示会開催支援等）
- 「子ども京都伝統産業達人認定証」授与事業等、ミュージアムと連携した取組



4 今後に向けて

背景など

刻々と変わる社会情勢

大規模自然災害

生成AI

推し活

アントレプレナー

人口減少

人手不足

地球沸騰化

カルチャープレナー

1%フォーアート

SNS

ウクライナ情勢・中東情勢

物価高騰

2030年問題

タイパ

LGBTQ+

トランプ政権誕生

文化庁

京都市

大阪・関西万博

Japandi

過去最高のインバウンド

突き抜ける世界都市京都

ナイト・エコノミー

京都市立芸術大学

伝統産業ミュージアム、
産業技術研究所の活用

マッチング

自走化の支援

前向きな設備投資支援

御議論いただきたいこと

第3期計画の終期（令和8年度末）も見据え、

- ① 委員の皆様の業界トレンド、今後重要になるキーワード**
- ② 今後の伝統産業の方向性**
- ③ ①②をどう関連付け、伝統産業の活性化につなげるか**

幅広いアイデアをお願いします！